

ペットも受動喫煙をしている？

～犬・猫とタバコの危険性～

タバコの副流煙によるペットへの影響

愛犬の鼻や目などにトラブルが起きやすかったりしませんか？
咳がでやすかったりしていませんか？
タバコの副流煙によるものかもしれないと考えてみた事がありますか？

喫煙者にとっては耳の痛い話ですが、タバコの副流煙は人だけでなく一緒に暮らす犬などのペットの健康にも大きな影響を与えるのです。飼い主が喫煙者の場合、**発ガン率は約 1.6 倍**になるそうです。

受動喫煙がペットに与える影響として下記の症状があります。

- ・咳やくしゃみが出る
- ・喘息
- ・気管支炎
- ・鼻腔がん
- ・肺がん



中毒症状

興奮・ふるえ・けいれん・おう吐・下痢・血便・血尿・幻覚などの症状がみられます。



※コリー、ダックスのような鼻先が長い長頭犬種では、鼻が化学物質のフィルターの役割をするため副鼻腔ガンになる率が高く、パグ、ブルドッグなどの鼻がみじかい短頭犬種では、肺に直接副流煙が入ってくるため肺ガンになる率が高いそうです。

なぜこれほどまでに害を受けるのか？

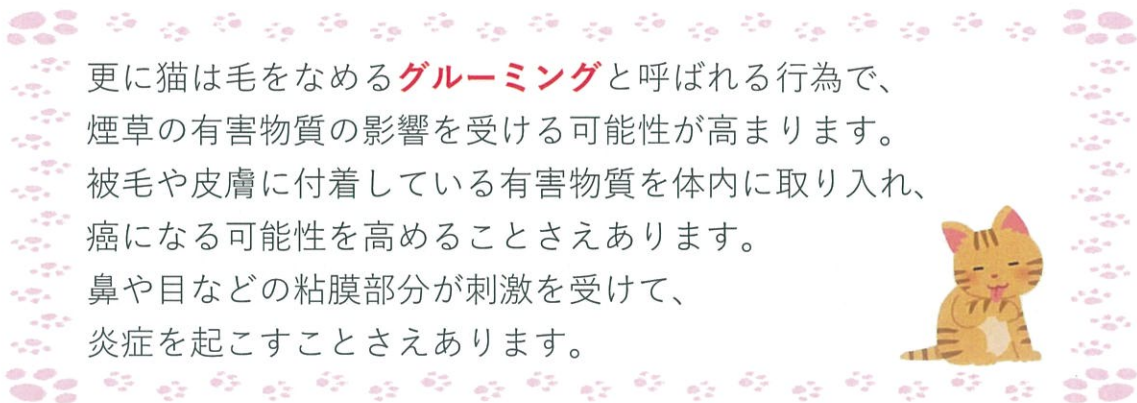


煙草の煙は空気よりも重いです。

そのため煙はお部屋の足元つまり下の方に、床に落ちていきます。通常人間は座っていても猫よりも高い位置に顔がありますが、ペットの生活行動位置はもっと下の方にあります。

つまり有害物質の集積地である床で過ごしています。

そうなれば当然タバコの副流煙の影響を直接に受けることになります。



更に猫は毛をなめる**グルーミング**と呼ばれる行為で、煙草の有害物質の影響を受ける可能性が高まります。

被毛や皮膚に付着している有害物質を体内に取り入れ、癌になる可能性を高めることさえあります。

鼻や目などの粘膜部分が刺激を受けて、炎症を起こすことさえあります。



煙草を吸っていようがいまいが人間はペットが可愛いと思うと抱っこしたがるものです。

もしタバコを吸った後、ペットを抱っこして息を吹きかけてしまうとどうなるでしょうか。

しかも近距離ですから避けようもありませんし、そもそもペットは危険に気づくこともありません…。



また、人間と違って犬・猫の内臓は人間の数分の一しかありません。当然人間にとっては少量の有害物質でも犬・猫が体内に吸収すれば、大問題に発展することになるわけです。



お願い！

ペットは自分で環境を選べません。

飼い主さんの与える環境がすべてです。

愛するペットの健康のためにも注意をしてあげるようにしてください。